

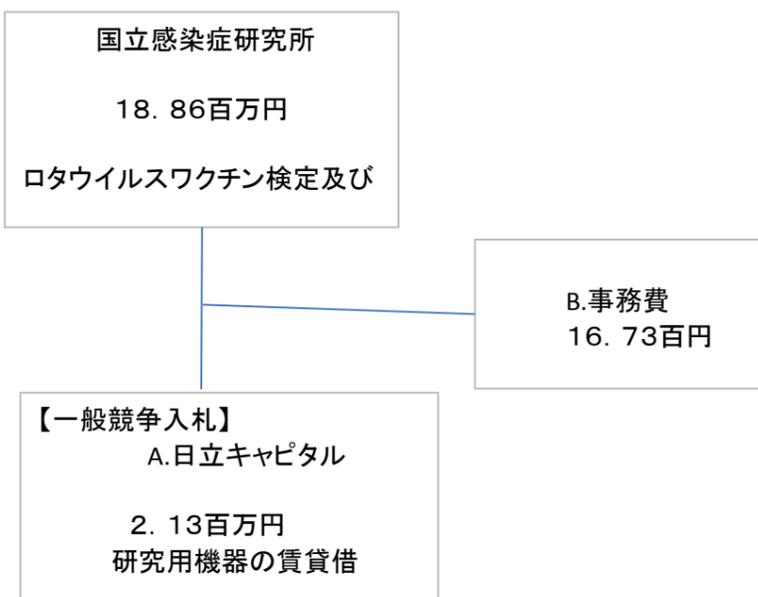
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	ロタウイルスワクチン検定及び品質管理に関する基礎研究		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	総務部会計課		課長 星野 真		
会計区分	一般会計		施策名	IV34				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成21年度ロタリックス並びにロタテックワクチンの承認前検査、平成23年度内両ワクチンの承認、接種開始				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成23年度に承認されたグラクソスミスクライン社の弱毒化経口生ロタウイルスワクチン・ロタリックス、平成24年度に承認されたMSD社のロタテックスに関して、ロタウイルスワクチン品質管理手法の研究を継続する。検定・研究業務を行うためには、両ワクチンの性質を熟慮した上での品質管理、安全性の確認が必要である。本事業の目的は、ワクチン作用機序の解明、病原性発現機構の解析を通じた検定検査方法を確立と品質管理にかかる研究である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成23年度ロタウイルスワクチン(単価ワクチンのロタリックス、5価ワクチンのロタテック)の承認、接種開始に対応して、安全性管理、並びに品質管理を国家検定業務にて行う必要がある。本ワクチンは、弱毒化生ワクチンであり、接種後に被接種者体内で増殖することでロタウイルスに対する総合的な免疫を誘導し、重篤な症状の出現を防止する。しかし、その作用機序は明らかにされておらず、ロタウイルスの弱毒化に関する分子基盤も得られていない。本事業では、ワクチンの品質管理手法の構築、並びに、ロタウイルスの病原性発現機構、ワクチンの作用機序を研究し、品質管理に役立てるとともに、ワクチン由来ロタウイルス感染症の出現の予防を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	19	19	19	
		補正予算	/	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	/	
		計	/	/	19	19	19	
	執行額	/	/	19	/	/		
	執行率(%)	/	/	100.0%	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
	承認前検査を完了させ検定方法の確立		成果実績	件	/	/	1	1
			達成度	%	/	/	/	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	精度管理のための試験実施、トレンド解析		活動実績(当初見込み)	件	/	/	5件	—
						5件	5件	
単位当たりコスト	3,800,000(円/件)		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	機器借料	4	4					
	消耗品費	10	8					
	雑役務費	2	2					
	賃金	2	2					
	計	18	16					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国の感染症対策に寄与する事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	少額の契約であっても複数社から見積を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	感染症における唯一の国立試験研究所であり、実効性は高く、ワクチンの品質管理、トレンド解析を行っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	ロタウイルスワクチンの品質管理手法を研究し、品質管理、安全管理を行えている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	ワクチンの品質面、安全面において管理を行っている。
点検結果	検定及び研究で用いる試薬等について、会計法に基づき適正に契約を行っている。安価な消耗品についても見積を数社から徴し、最も安い業者に発注し節約を進め、最適な対応を行っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業は、感染症対策の推進に係る試験研究に必要な経費であるが、執行状況等検証の上、必要な予算計上とすること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	消耗品について経費削減を行い、要求額について一部改善を行った。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	新23-042

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.日立キャピタル			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃貸借	研究用機器の賃貸借	2			
計		2	計		0
B.株池田理化			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品	研究用試薬の購入	0			
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日立キャピタル(株)	倒立型走査顕微鏡賃貸借	2.13	1	98.77
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理化	FITC標識抗「マウスIgG抗体3個	0.36	随意契約	
2	美津野商事(株)	パソコン アップルMacBookpro 1台	0.35	随意契約	
3	美津野商事(株)	パソコン アップルMacBook Pro 15インチ 1台	0.33	随意契約	
4	大洋産業(株)	ソフトウェア1個	0.21	随意契約	
5	美津野商事(株)	Adobe Creative Suite 5.5 Design Standard1個	0.18	随意契約	
6	(株)池田理化	プレーンステージ オリンパスIX2-SP 1個外1点	0.17	随意契約	
7	(株)池田理化	電動ピペット1個	0.14	随意契約	
8	美津野商事(株)	外付HDD1個	0.13	随意契約	
9	(株)池田理化	倒立電動顕微鏡用制御PCメモリ増設作業費	0.12	随意契約	
10	(株)池田理化	対物レンズ オリンパスUPLSAPO4X 1式	0.11	随意契約	